

【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実

PowerPointを利用した家庭学習課題（パフォーマンス課題）

パフォーマンス課題

テーマ	EU加盟国間の経済格差を小さくしていくためには、どのような取り組みを行うとよいだろうか。「ヨーロッパの人」または「東ヨーロッパの人」の視点から考えてみよう。
方法	①「西ヨーロッパ」か「東ヨーロッパ」を選択する。 ②選んだ地域の「課題」「取り組み内容」を考える。 ③他者に説明するための資料として、まとめ活動を行う。 ・スライドの枚数、アニメーション等は自由。 ④完成後は指定の場所に提出すること。
評価観点	①これまで学習したことを活用し、「選んだ地域の課題」を根拠を持って整理することができている。 ②これまで学習したことを活用し、「取り組み内容」を考えることができている。 ③他者に説明するための資料としてまとめることができている。
評価	①～③すべて満たしている + A・・・S、 ①～③すべてを満たしている・・・A ①～③のうち2つを満たしている・・・B、 ①～③のうち1つを満たしている・・・C ※提出日1日遅れるごとに1段階評価を下げます。
提出場所	クラスteams→社会科チャンネル→上部ファイル→「ヨーロッパ州パフォーマンス課題」 【提出日】10月27日（金） 17：00

PowerPointの活用

従来のプリントに書き込む課題に比べて、図や表を取り入れたものが増えた。
レイアウトの容易に変えられるため、見る側の視点に立ったレポートになった。
生徒が学習している時間帯に共有ファイルを開き、リアルタイムでアドバイスを送る工夫ができる。

1年生の生徒が仕上げたもの

東ヨーロッパの人々の視点で

EUの課題は…?

なぜそうなのかな

経済の力があるアメリカなどの大国に対抗するために…

1967年 - ヨーロッパ共同体 (EC)
93年 - ヨーロッパ連合 (EU)
加盟国27か国

西ヨーロッパと東ヨーロッパでの経済格差!

じゃあどうしたら経済格差が小さくなるのさ…?

東ヨーロッパは紫色(2000年以降の加盟国)が多い

☆ポイント1☆
東ヨーロッパは西ヨーロッパに比べてEUに加盟するのが遅い!

EUでは社会主義政策、社会保障の三つが行われている

しかし…
経済的に不安定な農業国が多い東ヨーロッパはEUに加盟したことによりEUの財政が圧迫するようになり…

EUは食料自給率を上げたり、輸入農産物も対抗出来るように食糧生産政策を作った

☆ポイント2☆
東ヨーロッパは西ヨーロッパと比べてあまり農業が進んでいない!

EUでは航空機産業を独占していたアメリカに対抗するために航空機産業を設立した

その一方で、東ヨーロッパは工業化が進んでいなく、賃金が低く比較的所得が低いことで…

人口が流出

☆ポイント3☆
工業化が進んでいない東ヨーロッパは人口が流出し、働く人々が減った。

EUの主産物の農産物自給率(2018年)

EUのヨーロッパの主な国の1か月の平均賃金(2018年)

～じゃあどうしたら経済格差が小さくなるのか～

ドイツやフランスの企業から見る東ヨーロッパは製品を安く生産できて、賃金も安いので東ヨーロッパに移動する企業が増える

東ヨーロッパの人口が減る一方

西ヨーロッパから移動してきたドイツやフランスの企業だったり、工業を建てて、外国からの企業招いて経済を発展させて西ヨーロッパとの経済格差を縮める

～まとめ～

東ヨーロッパは課題がいっぱいあるけど西ヨーロッパと東ヨーロッパが協力してEUを今後つくりあげていったら経済格差も小さくなるよと考えた。